

蕨 広報WARABI 1

2017/平成29年
わらび・790

- 平成29年1月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km²
- 12月1日現在人口：73,870人 前月比 +74人
男 37,586人 女 36,284人
世帯数：37,529
人口密度：14,455人/km²

祝！ 新成人

今月9日は「第71回成年式」。
767人が新たに大人への仲間入りをします。
6、7ページでは成年式について紹介します。
(写真は晴れ舞台への出席を親子で心待ちに
している中村美希さん・北町在住)



左手のピアニスト
智内 威雄



蕨市長
頼高 英雄



蕨市議会議長
三輪 かずよし

平成29年 新春座談会

平成29年。新しい年を迎えました。今月の特集「平成29年 新春座談会」では、
 昨年の出来事を振り返りながら、今年1年の市政や今後のまちづくりをどのよう
 に進めていくのかを頼高英雄蕨市長と三輪かずよし蕨市議会議長、「左手のピアニ
 スト」として活躍し、蕨市PR大使でもある智内威雄さんの3人が語り合いました。



蕨の魅力や今後のまちづくりなどについて語り合う3人

未来見据えた将来ビジョン マニフェストを着実に推進

一同 明けましておめでとうござ
います。

市長 智内さんには昨年、70回目
の節目となる成年式にご出演いた
だきありがとうございました。ピ
アノ演奏と新成人へのメッセージ
はたいへんすばらしかったです。

議長 新成人たちも立派な態度で
演奏や話を聴き入っていました。

智内 さすが成人式発祥の地・蕨
の式典でしたね。私も力になれて
良かったと思っています。

市長 昨年は演奏活動に加え、幅
広いご活躍をされていましたね。

智内 芸術振興では左手のピアノ
楽曲の発掘と普及、教育・福祉で
は高齢者や障害者に演奏の魅力を
広める活動を行うとともに組織の
法人化に取り組むなど、新たなス
タートを切れた年となりました。

お二人はどんな年でしたか。

議長 市議会では議会基本条例に
基づき、初となる議会報告会を市
民の皆さんの前で開催し、より開
かれた議会の実現に向けて改革を
前進させることができました。個
人的にも議長という大役を担い、
身の引き締まる思いがしました。

智内 市長さんはいかがでしたか。

市長 昨年も、市民の皆さんとの
協働で住み良いまちづくりを着実
に推進することができました。防

災対策では市民体育館の耐震化工
事や自主防災会へのスタンドパイ
プ配備、家具固定化補助の全世帯
への拡大を行うとともに市庁舎の
耐震化に向けた検討も進めました。

議長 災害に強いまちづくりには
自助・共助・公助の連携が重要です。
議会としても、災害時の拠点とな
る市庁舎の耐震化整備に関する決
議を6月に全会一致で行いました。

智内 万一来に備え、それぞれの立
場で取り組むことが必要ですね。

市長 子育て支援では、この2年
間で認可保育園を5園増設し、待
機児童は47人から3人へと大幅に
減少させることができました。ま
た、留守家庭児童指導室を3室増
設したほか、健康づくりや介護、
アクティブシニア支援に関する埼
玉県の3つのモデル事業を一体的
に行いました。

智内 待機児童3人はすごいです
ね。蕨のPRポイントになります。

議長 今後も子育てしやすいまち
づくりを進めていきたいものです。

市長 にぎわいづくりでは、東口
コミュニティ・ショッピング道路
の整備のほか、地域資源の更なる
発信に向けて創設した蕨ブランド
認定制度やふるさと納税の返礼品
に地元企業の商品を導入するなど、
取り組みを推進しました。

智内 蕨の特産品である、双子織
やわらびりんごなどが全国に広が
っていくのは楽しみです。



よりたか ひで お
市長 頼高 英雄
北町在住・53歳

蕨の更なる発展に向け、今年も全力を尽くします

蕨を愛する皆さんの思いが 市政発展の更なる原動力に

市長 智内さんは留学でヨーロッパ、今も仕事で全国を回っていらつしやいますが、あらためて蕨の良さを感じることはありますか。
智内 都心に近く便利である一方、中山道や三学院など歴史的な面影が残っているところはいいですね。でも、やはりいちばんは市域面積が小さいところですかね（笑）。そうした地の利からか、市民どうしの距離が近く一体感があります。
市長 コメンテーターとしてご協力いただいた市民音楽祭も、子どもから高齢者までいっしょに演奏し、大いに盛り上がりました。

智内 コンパクトな蕨ならではのイベントでしたね。皆さんが手を取り合い行っている「わら音」は、とてもいい取り組みだと思います。

議長 自主防災会や子ども会、健康づくりなどの活動でも市民の皆さんが協力しながら取り組んでいます。蕨はほんとうにコミュニティが豊かで地域活動が活発ですね。

市長 人口減少や都市部における地域のつながりの希薄化が問題となつていますが、蕨は住民どうしのつながりも深く、人口も微増傾向にあります。こうした歴史・文化、コミュニティの豊かさとし便性の高さの両面を兼ね備えていることが、蕨の強みです。
議長 向こう三軒両隣のつきあい

協働で進める

日本一住みやすい蕨のまちづくり

平成28年 市政ベスト10

1	認可保育園の増設を進め、待機児童数が3人へ大幅に減少	4月
2	市民体育館をはじめとする公共施設の耐震化の着実な推進	7月
3	成人式発祥の地として全国に先駆け、第70回目の節目となる成年式を開催	1月
4	健康、介護、アクティブシニア支援に関する県の3つのモデル事業を推進	4月7月10月
5	中央公民館が全国約1万4700の公民館の中から、「優秀館」5館の一つに決定	3月
6	留守家庭児童指導室（学童保育）を3室増設	4月
7	ふるさと納税の返礼品制度をスタート	9月
8	地域の防災力の強化へ自主防災会にスタンドパイプを配備	8月
9	家具固定化の補助制度を28年度に限り、全世帯へ拡大	4月
10	市のPRとにぎわい創出に向け、蕨ブランド認定制度を創設	5月

を今でもよく目にします。

智内 そうしたことが住み心地の良さにつながっているんですね。

議長 また、蕨の特徴として挙げられるのが生涯学習が盛んなところです。市内公民館では優良公民館表彰を5年連続で受賞し、その上、昨年は中央公民館が特に優れた優秀館の一つに選ばれました。

智内 そして、宿場町としての風土からか、若い世代とそれを支える年長者の世代がまちななかでうまく融合していますね。

市長 そうした土壌が若い世代のまちづくりへの関心の高さにつながっていると思います。成年式をはじめ、国際交流や合宿通学の指導員など地域活動に積極的に関わってくれていて頼もしいものです。
議長 昨年の参院選では蕨の10代

の投票率は県内上位でしたからね。

智内 地域と関わりを持つことにより、人と人とのつきあひも生まれ、まちへの愛着も自然と育まれていくのでしょうか。

市長 直近の市民意識調査では、「まちへの愛着度」がこの20年間で最も高い77.2%となっています。
議長 うれしいことです。また、智内さんのように今は蕨を離れていても、さまざまな場面で協力してくださる人もおおいいます。

智内 蕨での思い出は話し切れないほどですし、今も地元の人といはれたいせつな存在です。
市長 市民の皆さんのまちを愛する心、蕨を離れてもふるさととしてたいせつにする皆さんの思いは、まちのかけがえのない財産であり、市政発展の最大の原動力です。

市民と行政が協働で進める コンパクトシティ 蔵の実現

市長 智内さんは将来を嘱望されながらも右手に局所性ジストニアを発症し、現在に至るまでたいへんなご苦労があったと思います。

智内 日常では支障がないものの、両手でピアノを自由に弾けないと分かったときは絶望感に包まれました。ただ、病のおかげで歴史に埋もれていた優れた楽曲の数々と出合うことができ、今ではその魅力を広めるのが使命と思っています。

市長 成年式で新成人たちに贈った「失ったことで見えてくること」というメッセージは印象的でした。議長 逆境に負けず、挑戦し続ける姿勢はすばらしいです。今後も

活動の幅が更に広がるでしょうね。

智内 将来的には世界初となる左手のピアノ国際コンクールの開催を考えており、今年はその構想をより前進させます。また、音楽の楽しみを幅広い世代の人に広める取り組みも続けていきたいです。

議長 ご活躍を期待しています。

智内 更には河鍋晩斎の絵を使い、狂言師との朗読コンサートも計画中です。いずれは蔵でも同様のコンサートを開きたいと思っています。

市長 世界に誇れる晩斎とのコラボレーションは楽しみです。

智内 それが蔵や河鍋晩斎のPRにつながるでしょう。お二人はいかがですか。

議長 2回目となる議会報告会の開催に加え、議会改革推進特別委員会での議論を重ね、議会改革の歩

可能性を秘めている蔵の今後が楽しみです



ちない たけお
智内 威雄さん

Profile

40歳。蔵市生まれ。北小・第二中学校卒。東京音楽大学卒業後渡独。各国際コンクールで入賞を果たすも、局所性ジストニアを右手に発症。その後左手のみで弾く楽曲と出会い演奏を再開。現在は「左手のピアニスト」として活動を行うとともに左手のピアノ楽曲の発掘と普及に取り組む。平成28年には自らの半生を綴った『ピアノ、その左手の響き』（太郎次郎社エディタス）を出版。26年に蔵市PR大使に就任

平成29年 新春座談会

蔵の未来・まちづくりを語る

議会改革を進め、市民生活の向上につなげます



蔵市議会議員 **三輪 かずよし**

南町在住・69歳

みを更に推進し、市民生活の向上につなげていきます。また、子どもたちにも政治に関心を持つてもらえるよう、議場見学会などの取り組みを行っていきます。

智内 市長さんはいかがですか。

市長 将来ビジョンやマニフェストを着実に推進します。重点課題の防災対策では市民体育館に続き、市民会館の耐震化、市庁舎の耐震化に向けた検討を更に進めていきます。防犯対策では全ての防犯灯のLED化や街なかへの防犯カメラの設置などを実施します。

智内 安全で安心して暮らせるま

ちは皆さんが望んでいることです。

市長 子育て支援では認可保育園1園と留守家庭児童指導室4室を増設します。介護では4か所目の

特別養護老人ホームの整備に向けた取り組み、また、引き続き県との3つのモデル事業を進め、蔵ならではの支え合いのしくみを整えます。

議長 今後も豊かなコミュニティを生かしていきたいものです。

市長 にぎわいづくりでは、蔵ブランドのお披露目やシティプロモーションの指針に基づき、戦略的に蔵の魅力を発信していきます。

智内 蔵はまだまだ可能性を秘めているまちなので、楽しみです。

市長 そして、市民の皆さんとの協働によるまちづくりを更に推進し、日本一のコンパクトシティ蔵の実現に向けて全力を尽くします。

智内 今年もがんばってください。一同 今年1年、皆さんにとって良い年でありますように。

勇気と希望を胸に 未来に羽ばたけ新成人



昨年の成年式の様子

新成人の皆さん、おめでとうございます。ここでは今年で71回目を迎える蕨の成年式の由来や式典の内容を紹介します。

全国に先駆け式典を開催

今月9日、市民会館で開催される「第71回成年式」では、男性383人、女性384人、合計767人（12月15日現在）の新成人の皆さんが大人への仲間入りを果たします。

蕨で成年式が初めて開催されたのは、終戦の翌年、昭和21年のことでした。当時の日本は、国全体が敗戦の虚脱感に覆われ、多くの国民が明日への希望を見いだせず、いまだに戦後いち早く発足した蕨町青年団が「青年祭」を立案。その催しの一つとして企画されたのが「成年式」でした。

蕨第一国民学校（現・北小学校）で開催された「第1回蕨町青年祭」は、「成年式」

で幕を開け、町長や来賓の激励に出席者も誓いの言葉で応えました。全国に先駆けて行われたこの成年式は、県や国からも大きな関心が寄せられ、昭和23年に国民の祝日として「成人の日」が制定されると、各地で新成人の門出を祝うようになりました（右囲み）。

新成人を代表して成年式の企画・運営を担当するのが、市内3中学校を卒業した13人の実行委員の皆さんです（7左囲み）。一生の思い出に残る式典にしようと、昨年10月から準備を進めてきました。

生涯思い出に残る一日に

～ 蕨の成年式の歴史 ～



▲昭和21年11月22日、蕨第一国民学校（現・北小学校）前で撮影



▶平成28年1月11日、成年式発祥の地記念像前で撮影

成年式は、終戦翌年の昭和21年11月22日から3日間にわたって行われた青年祭の一つの企画として開催されました。会場には、国民服やもんぺ姿の若者約100人が来場。文化展覧会や芸能大会なども実施され、青年たちの心に再び明かりをと

もすことになりました。現在では、「成人式」として全国に広がっていますが、蕨市では今も当時の青年たちの思いと伝統を引き継いで、「成年式」の名で、新成人の門出をお祝いしています。



式典では、新成人としての決意や抱負を披露する「青年の主張」や「20歳の誓い」のほか、蕨男声合唱団と蕨フィルハーモニックウインズの皆さんによる「決意」の演奏が行われます。この歌は元蕨市教育委員長であり、詩人の故・中村泰三さんが、20歳という人生の節目に大いなる決意に燃えることのない世つさを込めて作詞されました（下囲み）。

成年式に向けてリハーサルを入念に行う実行委員の皆さん



開かれますので、ぜひ、同級生や恩師とご参加ください。実行委員をはじめ、参加者たちが自らの手でつくり上げる成年式。新成人の皆さんには、この日を契機に、勇気と希望を胸に「成人式発祥の地・蕨」から、大人への第一歩を踏み出してほしいと思います。

—成年式実行委員の氏名と役割—

実行委員長	栗原 健さん	副実行委員長	田伏 建太さん	司 会	杉田 優樹さん	青年の主張	坂口 朱莉さん	20歳の誓い	遠藤 康平さん	会場係	斉藤 孝幸さん	吉田 健一さん
	佐藤 萌さん		佐藤 霞さん		関 優花さん		田名辺 彩夏さん		西 悠図さん		吉崎 萌さん	

案内状のない人は連絡を

「成年式のご案内」が届いていない人や、蕨市出身で市外在住の出席希望の人は、生涯学習スポーツ課（☎433・7729）までご連絡ください。

決意

—成人式の若人へ—

中村 泰三

大きな夢を
成し遂げようとする
一途なまなざしこそ貴いのだ
青春の迷いや
実り足りない精神を
その手に しっかと握りしめて

いま 立ちあがった君の位置を
わずかにずらしたところに
はじらいがあると
見届けえたか
光あふれる肩に
豊かな胸に
信ずるほかに何もないと
知りつくして
確実に踏み出すのだ

ひたむきに
また歩きはじめる君の
たしかな二十歳
美しいと讃えよう

そうだ 決意は そこから始まる

実行委員長・副実行委員長に

お話を伺いました



副実行委員長
田伏 建太さん

Q. 式典への抱負は？
栗原 全国に先駆けて行われたこの蕨で成年式を迎えることを誇りに、一生の思い出に残る式典にしたいですね。
田伏 「成年式」の名に恥じない式典にするという責任感を感じます。伝統や先輩たちの思いをたいせつにし、しっかりと引き継いでいきたいです。



副実行委員長
佐藤 萌さん

Q. 将来については？
栗原 今はまだ自分が本当にしたいことを模索中ですが、生まれ育ったこの蕨を生活の基盤にしていきたいですね。
田伏 国際交流の経験から多様な人たちとの出会いに魅力を感じています。広い視野を持ち何事にも挑戦したいです。
佐藤 通訳の仕事をしたことを経験し、国際感覚を育み、人としても成長していきたいです。



実行委員長
栗原 健さん

Q. 20歳になり思うことは？
田伏 これからもしっかりと自分を磨き、これまでお世話になった人たちの期待に応えられるようになりたいです。
佐藤 何をすることも親の同意が必要なくなったことが大きいですが、それは自分で責任を取らないといけないということの裏返しだと感じます。



レポート そこが知りたい

<121>

被害者にも加害者にもならないために 防止しよう！高齢者の交通事故

市内の交通人身事故は年々減少傾向にある一方、65歳以上の高齢者の皆さんに関する事故の割合が高くなっています。そこで今月は、その発生状況や事故を防ぐためのポイントなどについて、蕨警察署交通課の小林勝則課長にお話を伺いました。



蕨警察署交通課
こばやし かつのり
小林 勝則 課長

Q 高齢者の交通事故の現状について教えてください。

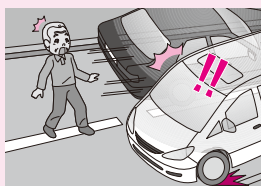
A 急速な高齢化の進展などを背景に、全国的に交通事故の死者数に占める高齢者の割合が高くなっています。蕨市でも、11月末現在、市内で発生した交通人身事故173件のうち、高齢者の死傷者数は、45人（死者0人）。年代別で最も高い21・8%を占め、

Q どのような事故が多いのでしょうか。

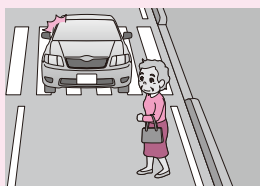
A 歩行中では、横断歩道以外の場所を渡ることに自動車やバイク、自転車との接触事故。自転車乗用中では、一時不停止や安全不確認などによる事故が多く、交通ルールを守れていないことも要因の一つとなっています（下イラスト）。また、これらの事故の約3割が夕暮れ時（午後3時～6時）に発生していることも、注視すべき点といえるでしょう。

ご注意を!!高齢者に多い交通事故

●歩行中に交通事故に遭うケース



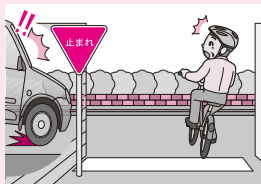
*車の直前・直後の横断



*横断歩道以外での横断

ほかにも…道路の斜め横断、信号無視など

●自転車乗用中の交通事故



*一時停止をしていない



*急な進路の変更

ほかにも…道路の右側通行、夜間の暗い服装での走行など

Q 高齢者が気を付けるべき点は？

A 高齢者の皆さんは、加齢に伴う認知・判断・操作などといった身体機能の低下を自覚することが重要です。また、近年、高齢ドライバーの増加などにより、高齢者が被害者だけではなく、加害者となるケースも報告されています。危険や不安を感じたら、運転免許の自主返納を進めることも、事故を未然に防ぐことにつながります。一方、周囲の人はその特徴を理解し、思いやりの気持ちを持って行動することがたいせつです。

Q 私たちができる取り組みについて教えてください。

A まずはルールやマナーの遵守など一人ひとりが安全意識を強く持つことです。その上で、万一の事故に備え、自転車ヘルメット（右囲み）や反射材の使用、自転車損害保険の加入など身近な対策から始めましょう。

悲惨な交通事故のないまちづくりには、市民・行政・警察が一体となった取り組みが欠かせません。ご協力お願いします。

問い合わせ 蕨警察署
交通課 ☎441・0110

3月12日施行!! 改正道路交通法

免許の更新時以外にも、75歳以上のドライバーが交通違反をした際に認知機能検査が義務付けられます。また、「準中型自動車」(3.5トン以上、7.5トン未満)の免許が18歳から取得できるようになります。

自転車ヘルメット 購入費を補助します

対象＝市内に在住する18歳までの子どもまたは65歳以上の人 ※その他条件あり。補助額＝ヘルメット購入費用の2分の1（上限2,000円） 申し込み＝市役所2階安全安心推進課 ☎430・7834

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課 ☎433・7703へ。

（仲間にありませんか）

▼和楽備ラジオ体操の会
月・水・金曜日 午前6時15分
城址公園 脳トレあり 平田・

☎080・4179・6907
▼蕨塚越サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 東小学校 塚越小学校 月2500円 年中・小学生 八元山・

☎090・8461・5315
▼蕨北町サッカー 土・日曜日・祝日 練習時間要確認 北小学校 月15000・20000円 年中・小学生 八小泉・

☎090・4948・5936
▼わらびハートニカクラブ
水曜日 午後1時 西公民館
月20000円 初心者歓迎

八重田・☎433・7375
▼ピカケ（フラダンス） 月2回 木曜日 午後7時半 明星幼稚園 八小川・☎431・2982

▼楊名時（太極拳） 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月45000円 八浦島・☎224・5915

▼ティンクル（キッズダンス） 木曜日 午後5時半 東公民館 月4000円 園児・小学生 体験レッスンあり 飯塚・☎090・2762・5320

▼南園基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 八山本・☎432・4543

→5時までを予定しています 面会を希望される人は事前に秘書広報課 ☎433・7701 までお問い合わせください



蔵に住む日本人と外国人の相互理解を深めようと、みんなの広場が12月11日に開催されました。9回目となる今回はイギリスや中国、ベトナムなど7か国104人が参加。うどんやクッキー作り体験、市内散策などを通じて、言葉や文化の違いを超えた交流を存分に楽しんでいました。



お手製うどんを前に、自然と会話もはじまっていた

和楽備神社では皆さんで参拝。日本文化に触れました



参加者に聞きました

互いの文化を理解する場に

スヴェン
クリーガーさん
ドイツ出身・23歳



大好きな日本のことを勉強しようと、現在、中央のホストファミリーの下にホームステイをしています。今回の催しでは、日本の文化はもちろん、さまざまな国について楽しく、おいしく理解を深めることができました。

まちの話題

NPO法人ふうせん主催の「楽しく子育て！笑（び）ってフェスタ」(蔵市協働提案事業)が12月4日、中央公民館を主会場に開かれました。ワークショップや情報揭示、演奏会などが行われ、訪れた約600人にとって子育ての知識や関心を深めるよい機会となりました。

12月4日、マタニティコンサートがくるで開かれました。市の総合戦略における産前産後のサポート体制の充実の一環で実施されたこの催し。ファゴットやフルート、ピアノによる演奏のほか、講演も行われ、妊婦の皆さんなど28人は心豊かなひとときを過ごしました。

12月11日、第一中学校と大荒田ランニングコース周辺を会場に、「第57回蔵市民ロードレース大会」が開かれました。小学生から熟年のかたまで計785人が14種目に分かれて参加。それぞれ2〜5キロのコースで健脚を競い合い、沿道から多くの声援が飛んでいました。

蔵市協働提案事業として、「SLまつり」が12月18日、大荒田交通公園で開催されました。日頃から園内にある蒸気機関車の整備などを行っているわらてつ俱樂部が主催したこのイベント。親子連れなど600人は、運転室の見学や記念撮影を通して交流を深めていました。

12月20日、(株)西武ライオンズと連携協定を結びました。協定は両者の資源を生かし、「スポーツ振興」「青少年の健全育成」「地域振興」の3つの事業項目において協働を図るもので、今後、野球教室の開催や埼玉西武ライオンズ主催試合の観戦招待などが行われる予定です。

子育てを応援する催し



妊婦さんへ優雅な音楽



寒さを吹き飛ばす力走



SL通じて深まる交流



ライオンズと連携協定



- ▼日本語ボランティアあわび中央 火曜日 午後1時半
水曜日 午後2時 中央公民館 月200円 入会費 890円・8945・7807
▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内500円 入会費 4328501
▼セビア・火曜会ダンスパーティー 練習会 16日 午前9時半 499円 ダンスパーティー 17日・28日 午後1時15分 600円 くるる 入会費 43・8968
▼大人ののための英会話・韓国語入門講座 2月1日・3月23日 毎週水曜日 韓国語 午後6時 英会話 午後7時半 市民会館 各15人(先着順) 費用負担あり 入会費 6489・2803
▼谷根仙巡り参加者説明会 日時等は電話確認 入会費 4295
▼江戸あるき 千寿七福神めぐり 7日・12日 午前9時 蔵駅改札前 700円 入会費 2764・1342
▼ダンスパーティー 7日・18日・26日 午後1時 くるる 499円 入会費 441・7373
▼蔵断酒会(酒害相談) 5日 中央公民館 13日 南公民館 19日 旭町公民館 午後7時 語り合いの場 入会費 2302・8510
▼(ご相談ください)

託児の有償ボランティア 皆さんの子育て経験 地域で生かしてみませんか

地域で子育てを支え合う、わらびファミリー・サポート・センターでは、お子さんの一時預かりや保育施設の送迎などの援助をしてくれる提供会員を募集中です。活動は無理なくできる範囲でかまいません。今月は同センターの概要について紹介します。

親と子の ニュースの 小窓



依頼会員も随時受付中。お気軽にご相談を

健康で子ども好きな人ぜひ提供会員に

お母さん ねえ、ワラビ。お隣のA子さん、「わらびファミリー・サポート・センター」の提供会員として子育てのボランティアを始めたんですって。

ワラビ なあに、それ。

お母さん 夜遅くまで働いている人や、急用ができた人のお子さんを一時的に預かったり、保育施設への送迎のお手伝いをしたりする活動のことよ。

ワラビ へえ、何歳くらいの子を預かるの？

お母さん 生後6か月から小学生までの子よ。子育ての援助を行う提供会

無理のない形で参加

サポートも万全

ワラビ こんにちわ。うちのお母さんも会員になれますか？

職員 もちろんです。活動は原則午前7時から午後8時までで、預かりに限らず、学童のお迎えなど短時間でも大歓迎です。
お母さん それなら、無理なく活動できそうね。

職員 現在、年間200

員には、市内在住で20歳からおおむね70歳までの健康で子どもが大好きな人ならなれるみたい。

ワラビ お母さんもやってみようってわけだね。

お母さん 今、提供会員が少なくて困っているらしいのよ。子育ての経験もあるし、役に立てればと思って。それに1時間700円ほどの報酬もいただけるそうよ。

ワラビ でも、知らないお友達を預かるなんて、だいじょうぶ？

お母さん じゃあ、お話を聞いてみましょうか。

0件を超える利用がある

のですが、提供会員など208人に対し、援助を希望する依頼会員は443人と約2倍になっているんです(10月末時点)。

お母さん 最近共働き世帯も多いですし、需要が増えているのですね。
職員 そうですね。

お母さん でも、やつぱ

り預かる不安はあるわ。
職員 預ける人も預かる人も、お互いが協力し合うのがセンターの特徴です。依頼会員も「預かる人は地域のボランティア」ということを理解した上で利用しているんですよ。
ワラビ それなら安心だね。

す。また、初めて預かる子については、私たちアドバイザーがいつしよに事前打ち合わせも行います。
お母さん サポート体制も万全なんですね。
職員 皆さん、活動を重ねる度に信頼関係も深まっていますよ。
お母さん それなら！ぜひ私もお手伝いします。
ワラビ 僕も賛成。お友達も増えそう楽しみ!!



提供会員として活動をしている佐木明日香さん。「息子の悠生(写真右)も楽しく過ごしています」と、にっこり

●会員になるための説明・講習会／24日(火) 総合社会福祉センター 午前9時 託児あり(要予約) 救命講習会あり ※依頼会員・両方会員(依頼・提供会員を兼ねる人)も随時受付。申し込み=わらびファミリー・サポート・センター(蔵市社会福祉協議会内 錦町3-3-27 ☎・FAX443・1800)

～今年度限定！全世帯への家具固定化の補助～
完了期限は2月末まで
まだのご家庭はお早めに

制度の詳しい内容は市ホームページでもご確認ください



家庭でできる自助の取り組みを後押ししようと、今年度に限り、全世帯へ対象を拡大している家具固定化の補助制度。完了期限は2月末までと終了が間近になっています。地震の際、負傷の多くは家具の転倒によるもので、その被害を減らすためにも寝室や居間、避難経路などにある家具の固定化が重要です。まだ取り組みを行っていないご家庭は、この機会に早めの対策をお願いします。

主な対象器具とその効果

小 → 器具の効果 → 大				
ストッパー式	ポール式	L型金具 (スライド式)	L型金具 (上向き取付)	L型金具 (下向き取付)
 マット式	 ベルト式 チェーン式	 プレート式	 プレート式	 プレート式

【補助金額】器具購入費、市内の登録事業者
に支払う設置費で上限1万円

【申請の流れ】①購入・事業者による設置前
に申請書と必要書類を安全安心推進課 ②器
具の購入・設置 ③完了報告書兼請求書を同課

※2月末までに③を行うことが補助の条件
です。①～③に一定の日数を要しますので
これから申請を検討するかたは安全安心推
進課(☎433・7755)へご相談ください



万一に備え、一人ひとりが対策を

▶▶▶ 紹介します！皆さんの市民活動

**キラリ!!
みんなの力**

～ サークルよみっ子 ～



「子どもたちの喜ぶ姿が私たちの励みです」と、皆さ
ん。活動に興味のある人は東公民館(☎442・4052)へ

「1歳を過ぎてから気
持ちを伝えられるようにな
ってきただけ。おなか
がすいたり、絵本を読ん
でほしかったりすると身
ぶり手ぶりで教えてくれ
ます。最近はいよいよ物で
レジンの人にはバイバイと手を
振るのがお気に入り。相

手もにつこり応えてくれ
るのがうれしくてたまら
ないようで、その姿に私
まで頬が緩んでしまいま
す。そんな大晴には名前
のとおり晴れた日のよう
に、みんなの気持ちを持
るくする子に育ってほし
いです」と、母親の桂さん。



たいせい
大晴ちゃん
(1歳1か月)

よこかわ だいご
横川 大悟さん
桂さんの

長男

塚越6丁目

わが家のアイドル

—537—

メッセージ

私

たちサークルよ
みっ子は、昭和52年、

東公民館の図書講座を受
講した地域のお母さんた
ちによって誕生した団体
です。以来、子どもたち
に一冊でも多く、すてき
な本に出合っしてほしいと
願って活動を続け、今年
で40周年を迎えます。
現在のスタッフは11人。
毎週木曜日(同館 正午)
に集まり、月1回(土曜日



あさみ きょうこ
浅見 京子 代表



読み語りで楽しいひとときを(塚越小)

また日曜日)開いてい
るお話会の準備を行っ
ています。年中から小学
生まで会員30人が訪れ
るお話会では、長年愛さ
れてきた絵本や紙芝居を
中心に、幼児には手遊び
やパネルシアター、高学
年には長編やちよっぴり
怖い話も交えて、飽きず
に楽しめる工夫をしてい
ます。また、年間を通じて
季節の行事を企画し、年
齢や学校を超えた交流を
育んでいるのも特徴です。
この他にも、公民館事
業や塚越小学校の1・2
年生の授業で読み語りを
行っているほか、来月18
日には、ボランティア・
市民活動体験(詳細は今
月号の折り込み)として
見学会を実施します。皆
さん、ぜひよみっ子の世
界をのぞきに來ませんか。



体重の倍以上の重さのバーベルを上げる武藤さん

輝いています

ひと

むとう はやと
武藤 隼人 さん

大舞台で初の栄冠を

持

ち上げたバーベルの重量を競い合うパワーリフティング。県立越谷北高校

パワーリフティング部の武藤隼人さん（16歳・塚越5丁目）は、重力との闘いともいわれるこの競技に情熱を傾ける1人です。昨年11月の県大会を勝ち抜き、今年3月には、2年連続となる全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会に出場します。

中学生のときは剣道を通じて心身を鍛えてきた武藤さん。パワーリフティングとの出会いは高校入学時のことでした。新入生向けの体験入部で、バーベルを上げたときの爽快感や結果が数字で表れる分、やりやすさに触れて興味を抱き、

迷わず入部。毎日仲間とともに汗を流しています。

同競技は3種類の上げ方でバーベルの挙上重量の合計を競います。肩に担ぎ屈伸を行う「スクワット」、ベンチ台に横になり胸の上で上げる「ベンチプレス」、そして、床に置いたバーベルを膝まで引き上げる「デッドリフト」です。

入部以来、バーベルを使ったトレーニングに加え、バランスよく筋肉をつける体づくりなど、地道な努力を重ねてきた武藤さん。入部当初は270キログラムだった記録も、昨秋の県大会では425キログラムを上げ、参加した66級級だけでなく74級級の階級の選手をも上回るほどに実力を伸ばし、全国大会の切符をつかみました。

昨年11月のルール改正で記録が伸び悩む選手もいるなか、既に新ルールに対応し、追い風になるなど更に活躍が期待される武藤さん。現在では記録を伸ばし、435キログラムの好調ぶりです。「昨年の全国選抜は最下位に近い成績で終わり、悔しい思いをしました。今回は自己ベストを出して優勝したいです」と、力強く語る武藤さん。全国の大舞台でもずしりと重いメダルをつかみ上げてくれることでしょう。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No. 8 —



晩斎筆「七福春乃曉筆」 明治17年(1884)12月御届
武川清吉板 大判錦絵三枚続

河鍋晩斎記念美術館 1月4日(水)～2月25日(土)

「新春開運 七福神と酉年の祝い」展
同時開催「野坂惇和 波の戯画展Part.2」展

開館＝午前10時～午後4時 休館＝木曜日
毎月26日～末日 ところ＝南町4-36-4
入館料＝一般540円 中学生～大学生430円
小学生以下210円 詳細＝同館(☎441・9780)
(20人以上の団体は要予約)



展覧会の詳しい
内容は美術館の
ホームページを
ご参照ください



明治18年、酉年のために晩斎が描いた七福神の錦絵です。干支の七福神錦絵シリーズは、明治17年刊の本図から始まり、晩斎の没後は晩翠と晩斎一門に受け継がれ、明治29年の申年分まで出ました。本図は晩斎が歌舞伎狂言「寿曾我対面」に見立

てた七福神です。芝居好きの江戸っ子にとっては、暮れが「忠臣蔵の討入り」で終わるなら、正月は「曾我の対面」で始まるのでした。おもしろいことに、画題に書かれた「晩筆」の横に「ぎようしつ」と江戸なまりのルビが振られています。

Kyosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)